

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年10月3日(火)	確認目的	ALPS 処理水第2回放出第1段階の状況	
確認箇所	多核種移送設備建屋、5、6号機敷地護岸ヤード、免震重要棟、放水立坑(上流水槽)			
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他
確認結果	<p>第2回放出の第1段階として、ALPS 処理水が想定通り希釈できていることを確認するための作業が行われたことから、その状況を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約1m³のALPS 処理水を約1,200m³の海水で希釈したものを放水立坑(上流水槽)に貯留し、トリチウム濃度を分析して計算上の濃度と同程度であることを確認するための作業が行われていた。 ・ 免震重要棟における監視・制御装置の操作は、操作指揮者の指示のもと、操作手順書に従い二人一組の操作員が復唱及び指差呼称による確認をしながら操作を進めていた。 ・ ALPS 処理水の移送、希釈にあたり、漏えい検出器の作動やその他の警報の発生はなかった。 ・ 移送ポンプに振動や異音等の異常は認められなかった。また、周辺の配管に漏えい等の異常は認められなかった。(写真1) ・ 希釈後のALPS 処理水のトリチウム濃度を測定するため、放水立坑(上流水槽)からベラー(採水器)により試料を採取していた。(写真2) 			
				
	(写真1) 処理水移送ポンプ(B)の稼働状態の確認状況	(写真2-1) 放水立坑(上流水槽)からの試料採取の状況①		
				
(写真2-2) 放水立坑(上流水槽)からの試料採取の状況②				